

Ⅲ. 技術支援業務

1. 技術指導

指 導 内 容	技 術 相 談 (件)		
	16 年 度	15 年 度	14 年 度
原料・素地（陶土）関係	131	183	140
釉薬（原料・絵具を含む）関係	99	196	100
成形技術	160	140	91
装飾技術関係（加飾・転写・上絵技術）	70	102	123
乾燥・焼成・窯炉関係	187	176	131
石膏型関係	55	22	13
品質（欠点防止）工程管理関係	55	115	160
デザイン全般	107	128	200
ニューセラミックス関係	307	449	325
PC・インターネット関連	13	36	54
新材料関連	122	292	268
評価試験方法	447	497	337
リサイクル関係	77	39	81
環境分野	57	30	64
知的財産関連	30	27	55
その他	430	829	492
合 計	2,347	3,261	2,637

2. 関係団体等への協力

事 業 名	内 容	担 当 者	依 頼 者
ながさき茶わんまつり	ポスター作成	桐山 有司	波佐見町
九州陶磁器デザイナー協会（DAKT）の運営	協会事務局、例会の開催、年次展の開催 （パンフレット、ポスター及びパネルの製作支援含む）	兼石 哲也 桐山 有司	九州陶磁器デザイナー協会
県産木材利用促進用陶磁器製PRパネルの作製	地元の木材を使用して建築された住宅へ展示するパネルのデザイン支援	桐山 有司	波佐見陶磁器工業協同組合

3. 研究会（開発部会）活動

(1)

部 会 名	長崎県環境機能材料研究会（旧環境保全用機能材料開発部会）
会 員 数	30社（窯業：10社、その他の製造業：13社、サービス業：7社）、2個人
活 動 内 容	<p>企業又はそのグループによって行われる、環境・衛生分野の技術開発、製品開発を、材料技術を適用して支援すると共に、勉強会を開催し会員への情報提供に努めた。活動の概要は次のとおり。</p> <p>1. 研究グループの活動支援：3件（水質浄化関連、抗菌剤開発関連、印刷技術関連）</p> <p>2. 勉強会・技術紹介：3回開催</p> <p>(1)第1回（平成16年7月6日） 勉強会：「大村湾の水環境（美しい海への再生）」（環境カウンセラー（環境省）・藤原達志氏）／技術紹介：①耐熱・撥水性燃焼触媒容器（窯業技術センター 阿部久雄・中興化成工業）、②多孔質セラミックスを用いたオーデコロンアクセサリ（窯業技術センター 阿部久雄）／事務局連絡：会名変更等運営方法について</p> <p>(2)第2回（平成16年10月8日） 勉強会：「半導体工場におけるコンタミネーションコントロール技術と環境対策」（佐世保工業高等専門学校教授・総合技術教育研究センター長 下野次男氏）／技術紹介：①わが社におけるガラスリサイクル事業について（西日本エンジニアリング 松本健一郎氏）、②環境機能材料研究の最新動向（窯業技術センター 高松宏行）／事務局連絡：今後の行事紹介</p> <p>(3)第3回（平成16年11月12日） 勉強会：「植物ポリフェノール（タンニン）の自然界での存在意義と産業的応用」（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教授 田中隆氏）／技術紹介：技術調査に便利なサイトの紹介（窯業技術センター 阿部久雄）／事務局連絡：今後の行事計画</p> <p>3. 研究支援：9件（環境・水質浄化研究分野：5件、材料開発研究分野：3件、その他：1件）</p>
担 当 者	研究開発科 阿部久雄、高松宏行、木須一正

(2)

部 会 名	長崎県セラミックス研究会
会 員 数（名）	8社（白山陶器(株)、(株)一龍陶苑、(有)嘉泉製陶所、波佐見石膏成型(株)、大村セラテック(株)、(株)福嶋窯材、高山陶器(株)、窯研(株)）
活 動 内 容	<p>磁器の強化に必要なトリジマイトを、安定して製造するための酸処理条件について検討を行った。</p> <p>①使用する酸の濃度 ②処理時間 ③処理温度</p>
担 当 者	陶磁器科 大串邦男、秋月俊彦

4. 講師及び審査員の派遣

4-1 伝産振興事業専門研修「デザインコース」

主 催	波佐見陶磁器工業協同組合			
会 場	長崎県窯業技術センター			
目 的	加飾技法の習得と模様創作の基礎知識及び創作力を養成する			
期 日	平成16年7月14日～17年2月23日（計16回）			
参加者	4名			
講 師	兼石哲也、久田松学			
内 容	日 程		科 目	内 容
	月	日		
7	7	14	オリエンテーション	研修全体の構成及び要素など研修内容についての検討
		28	加飾技法①（彫り）	片切り彫り、線彫りのための道具作り
8	8	11	〃	片切り彫り、線彫りの技法を使い、道具や陰陽の違いによる表情と効果をみる
		25	〃	直線、曲線、カーブ、強弱、刃の角度によるストローク演習
9	9	8	加飾技法②（象嵌）	呉須や釉薬などを象嵌するためのパターン彫りの演習
		22	〃	〃
10	10	13	〃	彫りを施したものに呉須や釉薬を象嵌し表情と効果をみる
		27	加飾技法③（濃み）	和紙濃み（和紙やティッシュペーパー、布など）による表情と効果をみる
11	11	10	加飾技法④ （上絵：洋絵具）	上絵の洋絵具による溶き起こしから線描きや花濃みなどの技法について表情や効果をみる
		24	加飾技法⑤ （上絵：和絵具）	上絵の和絵具による溶き起こしから骨描きや盛りなどについて表情や効果をみる
12	12	8	製品アイデア	製品アイデア（シーンの設定、形状、作製方法、加飾技法など）のプレゼンテーション
		21	〃	製品アイデアの展開
1	1	12	製品化作業	立体形状の作製
		26	〃	〃
2	2	9	製品化	立体形状への模様構成
		23	ま と め	完成品の評価、検討

4-2 講師等派遣

題 目	年月日 (場所)	職 員 名	会 名	依 頼 者
やきもの製造工程	平成16年9月15日 (波佐見町・窯業技術センター)	大串 邦男 兼石 哲也	第1回やきものプロ養成講座 (地元業界)	波佐見焼振興会
やきもの製造工程	平成16年10月15日 (波佐見町・窯業技術センター)	大串 邦男 兼石 哲也	第1回やきものプロ養成講座 「波佐見編」	波佐見焼振興会
セラミックスと応用製品について	平成16年12月6日 (佐世保市・佐世保工業高等学校)	永石 雅基	平成16年度佐世保工業高校産業教育民間講師招聘事業	佐世保工業高等学校

4-3 審査員等派遣

会 名	期 日 (場所)	職 員 名	依 頼 者
ふるさと産業振興補助金審査会	平成16年6月22日 (長崎市・県庁)	福村喜美子	物産流通振興課
中小企業創造活動促進法認定審査会	平成16年8月9日 (長崎市・産業振興財団)	山下 攻	長崎県産業振興財団
中小企業創造活動促進法認定審査会	平成17年3月28日 (長崎市・江戸町センタービル)	吉田 英樹	長崎県産業振興財団

5. 企業訪問

(1)

目 的	波佐見・三川内・川棚地区の陶磁器製造業を訪問して、企業が抱える技術的課題の解決、センターに対するニーズの把握を行った。
期 日	第1回 平成16年10月22日～10月29日 (6日間) 第2回 平成17年3月16日～3月25日 (7日間)
訪 問 企 業 数	窯元：66社 (波佐見地区47社、三川内地区15社、川棚地区4社)
概 要	センター発行の情報誌「窯：KAMA22号、23号」の配布、センターが取り組んでいる人材養成事業など各種業務の紹介を行うと共に、技術上の問題点や生産状況、センターへの要望などについて聞き取りを行った。技術上の問題や課題については、現場で迅速な解決を図り、解決が困難なものについては持ち帰って各種分析を行い課題解決のための支援を行った。また要望により「はりつき指導事業」や「共同開発事業」に取り組んだ。 (技術上の主な相談内容：42件) ピンホール (色釉、厚盛り上絵)、ブク (素地、錆絵具による)、ふちがさ、鉄粉、ゆがみ、還元濃度の測定、酸化焼成、透光性素地、耐熱磁器、遠赤外線放射率測定等について。
職 員	大串邦男、山下行男、兼石哲也、矢野鉄也、久田松学、永石雅基、桐山有司、秋月俊彦、吉田英樹、狩野伸自、高松宏行、小林孝幸、木須一正、山口英次

(2)

目 的	島原地区の陶磁器製造業の要請によって訪問し、企業が抱える技術的課題の解決や、センターに対するニーズの把握を行った。
期 日	平成16年12月10日
訪 問 企 業 数	3社（島原焼、雲仙焼、(有)池田孫石材）
概 要	デザイン的な視点と食器としての実用性を兼ね備えた製品への方向性について助言を行うと共に、知名度を上げる方法や、マイクロ波焼成、及び特許出願方法、機能性製品等について指導を行った。
職 員	大串邦男、兼石哲也、秋月俊彦